

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介
 つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶でのひら◆鍼灸でのひら治療院

S-O-S vol. 237通信
R2年5月7日発行
 発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |

☆ナイス・ホーム(定員 21名、現在登録者 14名)
 ☆愛宕の家(定員 17名中入居者 14名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)
 ☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)
 ※営業自粛中

《5月行事予定》
 新型コロナウイルス肺炎感染拡大予防のため、行事は自粛しています。今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。

《お知らせ》
 営業自粛：喫茶 でのひら
 期間：4/20(月)～5/31(日)
 ※期間を延長する場合あり

《教室案内》
 ・打太鼓 準備中
 ・コーラス 休止中
 場所：喫茶でのひら
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。
 ※各教室月謝制で、定員あり。
 詳細はお問い合わせ下さい。

医療と介護のバランス/SOS

左右に腎ろうカテーテルと膀胱カテーテルの合計 3 つの管が入っていました。病状の進行に伴い、腎ろうカテーテルはいずれ入らなくなるだろう、そしていつ抜けてもおかしくないだろう、その場合は高熱が出て命に関わる状況になる可能性もあると医師から説明を受けていました。

ある日の朝、”抜けたわ”とBさんが教えてくれました。病院に行くことを伝えるとBさんから「もう、いかん。ここにいる。」という言葉が出たのです。しかし、案の定、高熱が出ました。その高熱と本人の耐える様子から”やはり病院に行くべきではないのか、連れて行くべきではないのか”と気持ちが揺れました。かかりつけ医の先生に状態を報告する中で、自分自身の迷いを整理しながら、医師の意見、そして今までのBさんの想いを確認し合うことで、私の不安も消え、ご家族と相談の上、愛宕の家での看取りとして体制を再度整える気持ちに切り替えてもらいました。

カテーテルが抜けてしまってから約一週間、不思議と高熱も 1 日で治まり、大好きな卵かけご飯やプリンを食べ、お風呂にも入り、自分でできる事は最期までやりとおし、とても穏やかできれいな顔をして、ある日のお昼間に、あっという間にあの世へ逝かれました。

医療と介護のバランスは難しい。でも、そのバランスが上手くかみあった時は、とても温かいものが生まれることを実感している。その時々状態に合わせてバランス、比重を組み替える。それが出来るのが“愛宕の家”の強みかもしれない。

Bさん、私たち、少しは役に立てただろうか？そんな質問をしたら”ふんっ”って笑っている顔が思い浮かびます。Bさんのご冥福をお祈りします。(M・T)

新緑の季節に・・・/ナイス・デイ

報道では、コロナの暗い話題が多い今日このごろ。ナイス・デイでも新型コロナウイルス対策には余念がありません。手洗いうがいはもちろんの事、日々の検温、時間を決めての換気、次亜鉛塩素酸での消毒清掃、マスクの着用など、利用者の皆様にもご協力頂き、常に予防に取り組んでいます。予定していた行事の中止、外出の自粛などで利用者さんもスタッフも我慢我慢の日々です。『いつまで続くんだろう？』『後何日我慢しなくはいけないんだろう？』と考えるのではなく、あまり構えずに1日 1 日を無事に乗り切る事だけを考えて、暗い話題には距離を置いて室内で出来る楽しいことを考えていきます。先日、よく晴れたさわやかな日に近くの散歩道(散歩者が少ない時間帯を狙って)までちょこっと 外出・・・。



街路樹の青葉や満開の花水木を目に焼き付け、利用者さんもスタッフもリフレッシュしてナイス・デイに戻ってきました。今、こうして健康で暮らせている事と医療従事者や関わる全ての皆様に感謝しつつ、皆でこの時期を乗り越えていきたいものです。(M・O)

困った！トイレが使えないSOS！/ナイス・ケア

ただいま訪問介護事業所ナイス・ケアは「コンビニのトイレが使用禁止になってるよ』『あそこの薬局のトイレは使えるよ』という話題が上がっています。1 日を通して、利用者さんのご自宅へ訪問をするヘルパー。事務所に戻る時間がない場合、休憩やトイレはコンビニを利用しています。ある記事によると、“コンビニのトイレはドアノブや洗浄ボタン、トイレトーパーホルダーなど、不特定多数の人が同じ場所を触れること、また密閉された空間であることから感染リスクが高い場所”だからコンビニのトイレの使用が禁止になった・・・そりゃそうだ・・・理解はできる、出来るけど、コンビニのトイレが使えなくなるなんて考えてもいませんでした。

ある記事では公衆トイレを使用する際は、前の利用者が出てから 1～2 分程度待つべきだ、トイレの水を流すのは蓋をしてから流すべき・・・

さてさて、これはコンビニに限らず、もうどのトイレでも感染の可能性があると捉え、使用前後の対策をしないとイケないということですよ。自宅や会社のトイレだからといって安心していいわけではないのです。私たち訪問ヘルパーは緊急時以外、利用者のご自宅のトイレをお借りする事はありません。自宅への訪問をする前に済ませて行きます。しかし、言われてみれば当たり前、でも想定外だった”コンビニのトイレ使用禁止”事態。事業所として、新型コロナに関係なく、トイレの使用について解決策を見出さなくてはイケません。(M・T)

もしも/SOS

国から『利用者の状況や家族の状況を踏まえ、感染拡大予防のための対策を検討した上で、利用者に対する支援を提供する事。』という通知ばかり届きます。そんな中で・・・もしも・・・

○もしも、サポート・ワン・サービスのスタッフや、利用されている方やその家族からコロナウイルス感染が確認された場合・・・

事業所として保健所に報告し、指示通りにするしかありません。サービスの提供を中止しなければいけない事態になった場合は担当ケアマネに連絡し、全力で他事業所を探してもらいます。

“愛宕の家”に入居している方においても、保健所と医療機関と相談しながらの対応となるでしょう。

○もしも、利用者やその家族に発熱が認められた場合・・・

実際に起こっている現実。訪問しない選択もよし、訪問する選択もよし・・・つまりは”事業所判断”。この状態で訪問しないのは”放置”になるのではないかな？でももし万が一、コロナだったら？という不安の中、情報を整理しながらその日の対応、その先の予想を含めて、現場判断の日々。訪問介護は生活に直結しているため非常に判断が厳しい。

日常の様子/愛宕の家

連日、“新型コロナウイルス”の話題がテレビからも聞こえてくる愛宕の家。入居者さんたちの会話もそんな話題が多くなっています。感染拡大予防対策として、消毒清掃、定期的な換気などの実施。そして、面会制限・・・『こんな病気が流行っちゃって、家族にも会えんわなあ～』と入居者さんの声。ご家族も同じ思いをしてみえるんだとお察しします。毎週末のご家族の面会、差し入れ、一緒に外出などの楽しみも今は自粛、我慢です・・・ある日の食事前、これまたテレビのニュースを見ながら「こんなご時勢だからね・・・」「仕方ないね」とお互いに声を掛け合う入居者さんたち。そう声を掛け合いながら納得し、受け入れていく毎日です。私たちは、しっかり予防対策をしながら、沈みがちな雰囲気振り払って行くのが役目。緊張感を持ちつつ、明るく頑張っていこうと思います。(K・T)

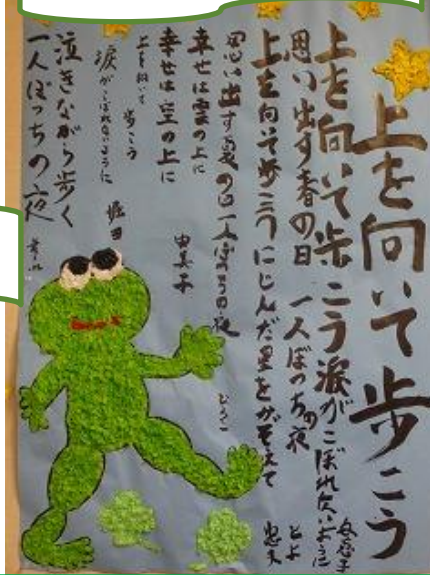


鉢植えて癒しを・・・



昼食準備、利用者さんもお手伝い！

利用者さんたちの合作



SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

5月の発送部数 91部

《編集後記》 今月は“新型コロナウイルス”とそれぞれの事業所の様子を紹介させて頂きました。みなさまも自粛疲れと緊張感の毎日の事と思います。ご自愛ください (Y・O)